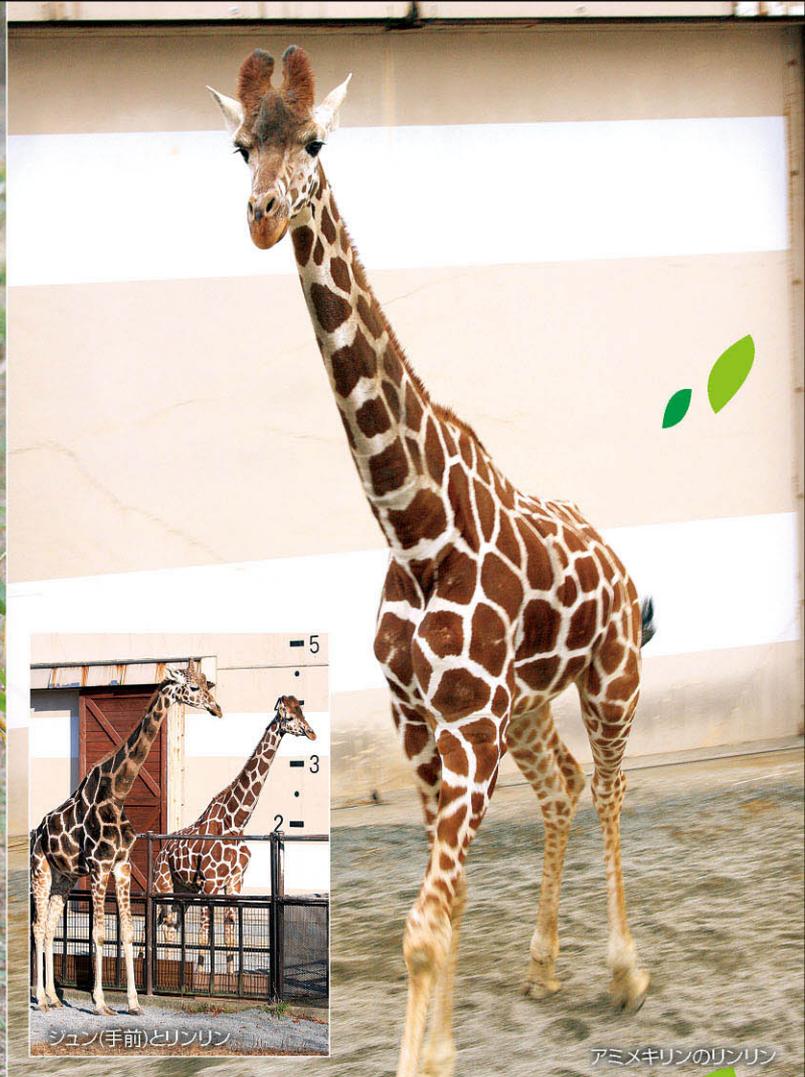




シセンレッサーパンダのユウタ



ジュン(手前)とリンリン

アミメキリンのリンリン

大森山動物園のニューフェイスを紹介します



アカカンガルーのオールスターキャスト。中央左がデニーロ

ナナ(上)とユウタ



アカカンガルーのデニーロ

昨年の秋、大森山動物園に仲間入りした動物たちをご紹介します。

まず、千葉市動物公園から導入したのは、オスのシセンレッサーパンダ「ユウタ(2)」。立ち上がることで有名な「風太」の子どもです。人なつこく、食いしん坊。親譲りの立ち姿もきれいです。当園のナナとの間に元気な赤ちゃんの誕生が期待されます。

盛岡市動物公園からはアミメキリンを導入しました。当園のオス、ジュン(15)のお嫁さんで、愛称は「リンリン(3)」です。来園当初は柵で仕切って、ジュンとは別々のスペースで過ごしていましたが、最近では、天気の良い日には仲良く奥の展示場で過ごすこともあります。春には、2頭の仲睦まじい様子をご覧いただけることと思います。(P8にリンリンに関する「飼育レポート」を掲載しています) 東武動物公園から導入したのはオスのアカカンガルー。「デニーロ」という愛称で、5歳です。来園当初は担当者を威嚇するなど、気性の荒さが目立ちましたが、当園のメス3頭に囲まれた穏やかな生活で、最近はずっかり落ち着いた様子。この調子なら、二世誕生は案外近いかもしれません。

このほか、井の頭自然文化園からニホンリスのつがいも導入しました。



ニホンリスのつがい(左がオス、右がメス)